

条件 **4.** あなたらしさを叶える家であること

それは、 内側にある。

時代や社会が変わっても
スウェーデンハウスが考える
住宅の「スタンダード」は変わりません。
家で過ごす時間が増え
住環境が見直される今
快適のあるべき姿と
それを可能にする条件を考えます。

住まい方は 生き方である。

幼い頃から体育会系で育ってきた娘が宝塚歌劇の魅力に取りつかれた途端、着慣れたジャージを脱ぎ捨てて、急にエレガントな服を着始めた。

「服装は生き方である」と言ったのは、イヴ・サンローランだっただろうか。我が娘はまさに服装で、今の自分の在り様を表現しようとしているのだ。一緒に買い物に出かけ、「これどう？」と差し出す服に「違う」と即答する娘。「それは、私ではない」という意味なのだろうが、もう少し優しく言ってくれよと、私は口をとがらせて服を戻しに行く。

住まい方も似ているなと思う。どんな家を作るかで、人は知らず知らず自分の生き方を周りの人に知らしめている。外観からモントーンで統一したり、南欧風だったり、純和風だったり。敢えて個性をあまり出さないというパターンもあるだろう。見た目で発信する自己表現は重要だし、自分らしい見た目に包まれることで人は落ち着く。その人の生き方はそこに映し出される。



The
SWEDEN
HOUSE

THE PERFORMANCE FOR OUR PLANET



CONTENTS

2

[Special 1]

POWER OF
SWEDENHOUSE
STANDARD

スウェーデンハウス・スタンダード

10

OUR FAVORITE CRAFTS

スウェーデンハウス・スタンダード

銘品館

12

[Special 2]

私たちのおうち時間

18

[Technology]

なるほど！ そうなんだ！
スウェーデンハウスとムース先生の
スウェーデンハウス紀行

22

[Culture]

私の小宇宙 Sweden

23

[Essay]

ウフフの我が家

24

[Performance]

たがわない約束

25

[mjuk@web information]

Enjoy! mjuk×200%

26

[SWEDEN HOUSE CIRCLE]

Good Neighbors

企画・発行：(株)スウェーデンハウス
発行人：村井 秀壽
編集人：大竹 愛子
プロデュース：(株)DGコミュニケーションズ
制作：(株)東北新社

表紙写真：Per Pixel Petersson/imagebank.sweden.se

「スウェーデンハウス・スタンダード」というタイトルのこの特集も、今号が最終回だ。本当に良いものを信じ、それを形にできる技術力。進化する伝統を受け渡していけること。愛着の持てる家であること：これまでこのコーナーで触れてきた、スウェーデンハウスが当たり前だと考える住宅の在り様に、それでは「見た目」は含まれるのか？

スウェーデンハウスでは、あたたかな外観は見る人を和ませるし、トッパターの木製サッシ窓はスウェーデンハウスの醍醐味だ。スウェーデンハウスがこれまでブレずに守ってきた「住宅はこうあるべきだ」という性能や志は、間違いなく見た目にも映し出される。けれど「え？この家もスウェーデンハウス？」という見た目の家に出合うことも、実は少なくない。そう、結構いろいろ「あり」なのだ。「家そのもの」さえしっかりしていれば、案



「見た目」
だけでは語らない。

POWER OF SWEDEN HOUSE STANDARD

スウェーデンハウス
スタンダード

外どんな服でも着こなせる——といったところだろうか。

世の中にはパインの木目が苦手な人もいるし、あたたかい雰囲気よりもクールでエッジの効いた雰囲気好みとする人も多い。しかしその人たちが、内装にパイン材を多用したスウェーデンハウスのモデルハウスを訪れて、「違う」とつかえすのはもったいない。ガーデニングやBBQを楽しむ写真が情報誌に溢れているからといって、インドア派のあなたが「これは、私ではない」と決めつけるのは早計だ。



木質感ではなく、アイアンやガラス素材がお好みならそれもいい。ひなびた茶室も、無機質な空間も、あなたらしくデザインしている。窓枠をアルミサッシにしてちょうだいと言われてしまつと、それは無理なお願いだけれど。

デッキに友人を呼ばなくなつていい。キッチンでハーブを育てなくてもいい。でも、きつとあなただつて、どんな空間に住むのであれ、冬暖かく、夏は涼しく、きれいな空気、強くて静かな空間がいいに違いない。クールでロックな内装だからといって、和服の似合う毎を送りたいからといって、隙間風や騒音、湿気やヒートショックに悩まされたくはないはずだ。

スウェーデンハウスにしかできないこと——「家そのもの」の部分にこそ、スウェーデンハウス・スタンダードの価値はある。





POWER
OF
SWEDEN
HOUSE
STANDARD

スウェーデンハウス
スタンダード



誰に対しても優しい家であること。それが北欧の住哲学を基に確立されてきた、スウェーデンハウスの在り様だ。老若男女、身体的に弱さを持っていても、そしてどんな趣味や好みの人でも快適に暮らせる家、誰もがどんな状況でも自分らしくいられる家であるために、スウェーデンハウスは長い年月をかけて「家

「外」を支える「内」の価値。

POWER OF SWEDEN HOUSE STANDARD

スウェーデンハウス
スタンダード



【掲載モデルハウス】
幕張東モデルハウス

【モデルハウスインフォメーション】

スウェーデンハウスのモデルハウスには、一つ一つの家にも、安心して暮らせる心地よさがあります。また築年数を重ねて味わいを深めてゆく、それぞれの美しさがあります。ぜひ実際に見て、感じてください。

<https://www.swedenhouse.co.jp/modelhouse/>

そのもの」の快適と向き合ってきた。試しにいくつかモデルハウスを回ってみるといい。様々なデザインの外観や内装にきつと出合える。びっくりするくらい個性的なものもある。けれどそこで時間を過ごすうちに、あなたの心と身体は気づくだろう。「ああ、やっぱりスウェーデンハウスだ」と。どんな服を着ていても、どんな香水をつけていたって、あなたがあなたであるのと同じように。

真の価値は、内側にある。タカラジェンヌ風のファッションを身にまといながらも、「清く、正しく、美しい」人格かどうかは別の話だ。もちろん、外見を整えたことで、それにふさわしい人格を磨こうと努力するならば、それもいい。しかし、住宅となるとそうはいかない。「家そのもの」は見た目によって変化しないのだから。

好きな色も、好きな音楽も、好きな食べ物も、一人ひとりみんな違う。文化や宗教、気候や人種だって違う。言ってみれば命の数だけ、その人らしい快適の形がある。その全ての快適を、内側からしっかりと支えたい。それがスウェーデンハウス・スタンダードの行先だ。